

旧赤松家だより

平成 30 年 7 月 4 日



梅雨の中休みだったのでしょうか。先日、久しぶりに青空が広がりましたが、もうすっかり夏の色をしているような気がしました。

旧赤松家の池ではシオカラトンボ、ショウジョウトンボが飛び交っています。



昭和 42 年当時
赤松邸間取り図

赤松則良が見付の現在地に移り住んだ明治 25 年当時の旧赤松家の屋敷の広さは約 3.000 坪(約 10.000 m²)、母屋は 200 坪近くありました。南門を入れてすぐ東側付近(現在の天宏北東角付近)に玄関があり、内蔵まで棟が続いていました。赤松家は大家族であり、部屋数も 26 部屋ありました。

その後、関東大震災で東京の本宅が倒壊したため、大正 14 年頃、母屋は東京に解体移築されました。しかし昭和 20 年 3 月の東京大空襲で焼失してしまいました。

今月 4 日から内蔵ギャラリーでは、鈴木哲治さんの『第二回 鈴木哲治 油絵 陶芸 俳句作品展』を開催しています。

ひとつひとつ心を込めて仕上げた作品を約 30 点展示しています。ぜひご覧ください。

内蔵ギャラリーのご案内

『第二回 鈴木哲治 油絵 陶芸 俳句作品展』

開催期間：7月4日(水)～7月16日(月)

* 休館日 7月9日(月)

開催時間：午前9時～午後4時30分

(最終日は午後2時30分まで)

入場料：無 料

出展者：鈴木哲治

問い合わせ:旧赤松家記念館 0538-36-0340



展示作品より